

杉正俊 すぎまさとし 哲學者。明治二十二年生れ、昭和八年十月十二日没（一八九一—一九三三）。昭和四年京都帝國大學哲學科卒業。文部省社會教育課に勤務、傍ら東京帝國大學哲學科教室に通つて研究。リッケルト著「ロヴェルヘルム・ヴァインゲルバンクト」(昭和八年十月五日岩波書店)「哲學論叢」(一)を譯刊後ドイツ留學、病を獲て神戸港に歸著後、いくばく幾許もなく没す。滯獨自誌「郷愁記」(昭和十五年二月)一千八百弘文堂書房)を遺した。

